

保護者のみなさんへ

「がんばろう」

とおちゃん かあちゃん じいちゃん ばあちゃん  
ねえちゃん にいちゃん ……  
そして 子供たち

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。  
連日、国内外から感染の広がりが伝えられ、  
身近に迫りくる恐怖を感じています。

子供たちは、集団登校時、前後の間隔を広め  
にとるなど、自分たちにできる感染予防に努め  
ています。

その姿に健気さを感じます。  
皆様方におかれましても、収束のめどが立た  
ないことへの不安を抱かれています。特に、卒業や入学、受験や就職など人生の節  
目を迎えている子供をお持ちの保護者にとって、  
「なぜ今なの」とどうにもできないことが分かって  
いても腹立たしくもかしい、そんな気持ちで  
いらっしゃることと思います。

また、この事態に遭遇して、人類の存亡が自  
然災害と感染症との闘いの歴史であったことを  
つくづく感じる次第です。

さて、感染拡大防止のため、学校を臨時休業  
としています。一方で、子供たちの学習の遅れ  
や生活習慣の乱れを危惧しています。

すぐ解決のできないこのような時、「こういう  
時だからこそできることはないか」「こういう時  
しかできないことはないか」と心持ちを変えてみ  
てはどうでしょうか。

私の出会いの中に、半年間、大病で絶対安静  
を余儀なくされた子供がいます。たしか当時  
六歳だったと思います。遊び盛りなので、両親  
は行動を制限するのに苦労していました。来  
る日も来る日も、お母さんが語る桃太郎や浦  
島太郎の昔話を聞いたり、プラモデル作りに熱  
中していたと聞きました。ある日、お母さんが

言われました。「嘆いたり愚痴をこぼしたりし  
ても仕方ありません。このつらい経験を良い  
方向に向けるだけです。」と、その時の表情は  
自分に言い聞かせておられるように私には映  
りました。それまで、哀れさだけに同情してい  
た私は、自分自身を恥じました。この子は今、  
社会人として活躍しています。通常の生活とは  
大きく異なる此の間の生活が、彼の成長になん  
らかの影響をもたらしたことは間違いありま  
せん。

ふと昔のことが脳裏をよぎりましたので、紹  
介しました。

今だからこそできるものに没頭する。今、ま  
さにそのような生活が、子供たちに求められて  
いるのではないのでしょうか。

此の難が、必ずや収束することを皆さんと  
祈りたいと思います。

「がんばろう」

とおちゃん かあちゃん じいちゃん ばあちゃん  
ねえちゃん にいちゃん ……  
そして 子供たち

令和二年四月十七日

海田町教育委員会

教育長 佐々木智彦